

目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	群れの構成要因	14
2.1	一夫一妻制	16
2.2	一夫多妻制	20
2.3	多夫多妻制	21
2.4	ヒトの場合	23
2.5	序列とストレス	25
2.6	融和行動	29
第 3 章	群れの機能	33
3.1	希釈効果	34
3.2	富の分配	35
3.3	不平等をきらう	37
3.4	絆形成と社会的緩衝作用	39
3.5	群れにみられる社会情動の起源	42
第 4 章	母仔間の絆	46
4.1	アタッチメント行動	47
4.2	養育行動	49
4.3	オキシトシンの作用	51
4.4	オキシトシンを介した 3 つのポジティブループ	54

第 5 章 雌雄の惹かれ合い—フェロモンを中心とした話題	58
5.1 オス行動.....	62
5.2 メス行動.....	66
5.3 特定の個体に対する性的嗜好性.....	68
5.4 音声による近縁度の認知.....	71
5.5 雌雄間の絆形成.....	74
第 6 章 縄張り行動	79
6.1 マーキング行動.....	82
6.2 攻撃性に関わる匂い.....	84
6.3 音 声.....	86
第 7 章 動物における共感性	89
7.1 母子間にみられる共感性の起源.....	91
7.2 痛みの情動伝染.....	93
7.3 共感性に関わる神経回路.....	95
7.4 なぐさめ行動.....	99
7.5 援助行動.....	103
7.6 ヒトとイヌの共感.....	106
7.7 ヒトの特異性.....	112
7.8 道徳の起源.....	117
7.9 道徳の神経科学.....	120
第 8 章 共に生きる	124
8.1 ヒトとイヌの共進化.....	125
8.2 共生という概念.....	129
参考文献	133
索 引	141